



3年ぶりの合唱

「落中発表会」に向けて

10月も中旬となり、いよいよ「落中発表会」が迫ってきました。3年ぶりの全校での開催…実行委員会の様子を聞くと、生徒も本当に楽しみにしているようです。本日から、本格的に準備期間に入り、練習段階とはいえ、きっと素敵な歌声が校内に響き渡ることでしょう。

その落中発表会ですが、実行委員会を中心にまとめてくれた、今年度のスローガンは、

輝かせる 積み重ねてきた想いを

～ For Dream ～

に決定しました。この言葉には、

- これまでの落中での様々な行事や日々の学校生活の中で積み重ねた経験や学んだことを生かす機会にしてほしい。
- コロナ禍で数少ない全校生徒がそろった行事をクラスや学年全員で協力し、合唱や作品作りに取り組んでほしい。

という想いが込められています。そして、この落中発表会が、「皆さんの夢への第一歩」になることを願っての副題となっています。

皆さんの想いや願いが、どのように表現されるのか(表現してくれるのか)、今から本当に楽しみです。

全員で想いを一つにして、素敵な会を創り上げていきましょう。

[落中発表会 実行委員会] (敬称略)

委員長 3B T. M.

副委員長 3B M. K. 2B F. K.

1A K. H. K. H. N. R.

1B I. R. M. S. Y. K.

2A K. S. N. K. H. W.

2B S. Y. F. K. M. S.

3A I. Y. S. R. S. K.

3B K. S. T. M. M. K.

読書の秋… 読書週間

爽やかで過ごしやすい「秋」…今年はどうも言葉通りにはいかず、10月になっても30度近い日もあれば、最高気温が17度程度の11月後半を思わせる寒い日もあり、不安定な日が続いています。

さて、今年も「読書週間」(10/27～11/9)が始まります。この読書週間は、終戦まもない1947年(昭和22)年、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催され、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。(読書推進運動協議会HPより抜粋)今年のポスターにある言葉は、『この一冊に、ありがとう』です。

一方、1959年(昭和34年)に始まった「こどもの読書週間」は「こどもの日」に合わせ、春に3週間(4/2～5/12)設定されています。今年の標語は「ひとみキラキラ 本にどきどき」でした。

この学校だよりを作りながらも、こと「読書」に関しては人に示せるレベルではなく、心苦しい限りです。小・中学生の時は、名作や話題作、伝記などをそれなりに読んでいましたが、最近好きな作家(今は東野圭吾氏)の作品をすべて読む、という形になっています。また、社会全体が電子機器中心の時代となり、読書自体の形も変化してきました。

ウォルト・ディズニーは「**宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。そして何よりも、宝を毎日味わうことが出来るのだ。**」と、読書について言葉を残しています。ぜひ、この秋、素敵な一冊(作品)に出会えることを願っています。お勧めの本があれば教えてください。

いざという時に備えて 安全に関する取り組みを行いました

【不審者対応訓練】

9月28日(水)、第6回避難訓練として、「不審者対応訓練」を実施しました。この訓練は、今でこそどの学校でも行われるようになりましたが、その契機となったのは、2001年(平成13年)6月大阪教育大学附属池田小学校で起きた、不審者による殺傷事件です。8名の児童が尊い命を落とし、15名の教員・児童が重軽傷を負いました。それから20年以上が経ちますが、これを境に学校防災の見直しが行われました。

当日の訓練は、不審者が侵入したと仮定し、命を守る行動として、教室内への侵入を防ぐために机を使って、教室出入り口の封鎖をしました。全教員で封鎖の状況を確認、生徒も真剣に取り組んでいました。

【2年・普通救命講習会】

9月30日(金)、2年生を対象に「普通救命講習」を実施しました。講習を通して、「命の大切さ」やいざという時に身近な人を守る「応急手当」の実践力を身に付けることに加え、「他者への思いやり」や「お互いに助け合う気持ち」など、いろいろなことを学ぶことをねらいとしています。

内容は、救急救命に関するテキストを使用しての心構えや基礎知識から始まり、実際の傷病者への対応や胸骨圧迫(心臓マッサージ)の実技、AEDの使用法など、実践的な内容まで、中身の濃い時間となりました。今回得た知識・技術を使う場面はない方がいいのですが、身近な人を救う大切な内容であることを確認し、全員で真剣に取り組みました。



当日は、新宿消防署、防災救急協会、地域の消防団の方など、お忙しい中、大変多くの方にご来校いただき、ご指導いただきました。あらためて、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。

2年 理科 特別授業

新宿区では、地元の早稲田大学と連携し、「新宿SPP(Science Partnership Program)事業」(理科講師派遣)を展開しています。その趣旨は、理科学習の楽しさ・面白さを伝える先端科学技術をふまえた特別授業を行うことであり、学習指導要領にもある理数教育の推進にもつながってきます。毎年、区内すべての中学2年生に対して実施していますが、本校では、10月14日(金)に行いました。

特別授業のテーマは「身のまわりの光を見てみよう」と設定され、「光の三原色」「ホタルやウミホタルの発光メカニズム」の2つを学習課題とし、みんなで探求的学習を進めていきました。ホタルは、おとめ山公園で身近な話題でもあり、普段とは違う理科の学習に、一生懸命に取り組んでいました。



【保護者の皆様へ】

「落中発表会」については表面でも書かせていただきましたが、新型コロナ感染防止に最大限努力、なんとか全校開催で実施したいと考えております。そのため、保護者の方の参観を学年ごとの入れ替え制にするなど、ご負担をおかけいたしますが、10/7に発出しました「落中発表会」のお知らせをご確認いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、当日のプログラム・入場券は、後日、配布いたします。

合唱曲 紹介

※全学年 課題曲 落合中学校 校歌

※各クラスの自由曲

1年A組 変わらないもの

1年B組 ハートのアンテナ

2年A組 ふるさと

2年B組 地球星歌 ～笑顔のために～

3年A組 手紙 ～拝啓十五の君へ～

3年B組 群青

3年ぶりの生徒の合唱

…本当に楽しみです。

